

【様式】

令和6年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立四日市南高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校の像		<ul style="list-style-type: none"> ○高い志と豊かな人間性を育むとともに、一人ひとりの可能性を引き出し、自己実現と進路実現を図る学校 ○自主・自律の精神を養い、未来を切り拓き、社会に貢献しようとする意思を育む学校
(2)	育みたい資質・能力 (育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ○明確な目的意識を持って、主体的・協働的に学び、学ぶ楽しさを感じながら互いに高め合う生徒 ○ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、特別活動などに積極的に取り組むことを通して、豊かな感性や人権意識、自己有用感、他者と協働する力、リーダーシップ、向上心などを身に付け、社会に貢献しようとする意思を持つ生徒
	ありたい教職員の像	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い教養と高い専門性、子どもたちへの大きな愛情と豊かな人間性を備えた信頼される教職員 ○目指す学校像の実現に向け、実践を大切にし、自己研鑽に励むとともに切磋琢磨する教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の向上と進路希望の実現 ○安全安心が確保され、あらゆる教育活動の場において頑張ることができる環境 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の向上と進路希望の実現、未来を切り拓き社会を生き抜く力の育成 ○一人ひとりが大切にされ、安全安心が確保されている学校環境 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域活動への積極的な参加による地域の活性化 ○郷土愛を持った地域のこれからのを支える市民とリーダーの育成 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの様子や進路情報等の積極的な発信 ○いじめのない安全安心な学習環境 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校の教育活動や生徒の状況、入試情報等の積極的な発信 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域活動への参加と協力 ○災害時対応を含めた施設の開放と活用 	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育活動への理解と協力 ○基本的な生活習慣の確立と家庭での学習環境の整備 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力と基本的な生活習慣の定着 ○生徒に関する情報の共有 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校の教育活動への理解と協力 ○本校に不足する教育力の提供
(3) 前年度の学校関係者評価など	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的、対話的な学びや ICT 機器の効果的な活用の推進、探究の要素を取り入れるなど、授業改善への継続的な取組が重要である。 ○生徒アンケートの目標達成の数値が低く感じる。自己肯定感を高める取り組みなど、自己実現に向けた多様なキャリア教育の取組に期待します。 ○個人面談の実施、不登校生徒への対応、いじめ防止の取組など、安心して学校生活ができる環境づくりを今後も継続して推進することが重要である。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動への加入率は高く、多くの生徒が学習と部活動を両立できるよう努力している。素直で真面目な生徒が多く、学習にも粘り強く取り組むことで、多くの生徒が国公立大学に進学するなど進路希望を実現している。 ○受動的な学びにとどまっている生徒が多く、自立した学習者となるよう主体的に考え、能動的に学習に向かう力を育むための研究を進める。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の過重労働時間の縮減では一定の成果はあるものの、依然として課題も多く、引き続き業務改善を進めるなど、多忙解消に向けて取り組む。 ○生徒へ必要な支援が届くよう、教育相談のコーディネート機能をより充実させるとともに、心理や特別支援、医療、福祉などの専門性を持つ外部人材や外部機関との連携・協働をより強力に推進していく。 ○本校の魅力発信のために、より見やすく、わかりやすいホームページとなるよう改修を行う。

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p> <p>【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの可能性を引き出し、高い志を持って自己実現と進路実現が図られるよう、基礎基本を基盤とし、幅広い知識と教養を身に付けられるバランスのとれた教育課程を編成する。 ○1年生では全員が共通の教科を学び、2年生からは個々の進路や適性に応じて文系コース、理系コースに分かれ、進路希望の実現に必要な学力を身に付ける。 ○生徒が主体的に考え、行動するホームルーム活動や生徒会活動、部活動、学校行事などの特別活動を通して、豊かな感性や人権意識、自己有用感、他者と協働する力、リーダーシップ、向上心などを養い、知・徳・体の調和がとれた、これからの社会を生き抜く力を育成する。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒につけたい力をふまえた授業内容の検証やICTの効果的な活用等により、授業改善に取り組むとともに、カリキュラムマネジメントの的確な実施を図る。 ○教職員一人ひとりが自己の職責を自覚するとともに、県民視線を大切にされたコンプライアンス意識の向上に取り組む。 ○根拠なき前例踏襲に陥らない、新しい発想を大切にされた組織運営を推進するとともに、業務の精選、ICTの活用などによる業務の効率化を進め、総勤務時間の縮減、やりがいを持って健康に働くことができる職場環境づくりに取り組む。

4 求める生徒の姿

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○知的好奇心に富み、意欲的・主体的に学習に取り組むことができる ○社会への関心が高く、失敗を恐れることなく自らの可能性に挑戦することができる ○他者を尊重し、多様な価値観を受け入れることができ、仲間と切磋琢磨できる
--	---

5 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領や大学入試改革、一人一台端末時代に対応した授業改善 ○「総合的な探究の時間」の3年間を見通した計画の再構築 ○「数理科学コース」の特色化・魅力化 ○家庭学習の充実と定着 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス内容の検証とそれに基づく授業実践 ・教科横断的な「授業参観月間」の設定 ・図書・探究支援部を中心に各学年・分掌が連携し、生徒の探究心を刺激する「総合的な探究の時間」の構築 ・「数理科学コース」の設置目的、教育課程、授業内容、進路指導など、そのあり方についての検討 ・家庭学習時間と課題の内容・量・教科バランスとの関連に注視しながら、主体的な学びを促進 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「授業内容はよくわかりますか」の肯定的回答の割合 95%以上 ・生徒アンケート「授業では自分で考え、自分から取り組んでいますか」の肯定的回答の割合 95%以上 	(年度末に記載)
進路指導・キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ○「キャリア教育プログラム」に基づく、教育活動全体を通じた自己実現に向けたキャリア教育を推進 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、年6回程度の個人面談を実施 ・進路を考える機会として進路講話・講演会などを計画的に実施（進路講話、進路講演会、県職・教職ガイダンス、OB講演会、学部学科説明会、先輩と語る会、キャリアデザイン講座など） <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「目標の達成をめざして、学習などができていますか」の肯定的回答の割合 90%以上 ・生徒アンケート「困難だと思うことでも、前向きに考えて挑戦していますか」の肯定的回答の割合 90%以上 	(年度末に記載)
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ防止基本方針」、「命を大切にする教育年間指導計画」及び「人権教育推進計画」等に基づく確実な教育実践 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、年6回程度の個人面談を実施（再掲） ・学校生活に関するアンケートを年2回実施 ・各学期にいじめに関するアンケートを実施 ・オンラインでいつでも、どこでも、いじめや悩みを打ち明けられるシステムの適切な運用 ・定期的に教育相談・特別支援教育推進委員会を開催し、生徒情報を共有 ・心理や特別支援、医療、福祉など専門性を持つ外部人材や外部機関との連携・協働を推進 ・毎月、重点指導期間を設定（校門等での声かけ、挨拶、交通指導等） <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「困ったことや心配事などを、先生や友だちに相談することができますか」の肯定的回答の割合 95%以上 ・生徒アンケート「学校生活を送る中で、安心して学習することができますか」の肯定的回答の割合 100% 	(年度末に記載)
改善課題		

(年度末に記載)

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果
教員の 指導力向上	○ICT の効果的な活用事例の収集と共有および ICT 環境の整備 ○校外研修会への積極的参加 ○いつでも授業参観の雰囲気醸成 【活動指標】 ・ 図書・探究支援部を中心に ICT の効果的な活用事例の収集と発信 ・ 教育課程委員会の開催 10回以上/年 ・ 各種現職教育の実施(年2回以上)と校外研修への参加 ・ 授業参観月間の設定(年2回) 【成果指標】 ・ 生徒アンケート「知識」や「技能」が向上した」の肯定的回答の割合 95%以上 ・ 生徒アンケート「考える力」や「表現する力」が向上した」の肯定的回答の割合 95%以上 ・ 生徒アンケート「授業内容についてより深く学びたいと思うようになった」の肯定的回答の割合 95%以上	(年度末に記載)
組織力向上	○根拠なき前例踏襲に陥らない組織づくり ○お互い気軽に声をかけあうことができ、コンプライアンス遵守の雰囲気が醸成されている職場づくり ○ICT 環境の整備および共有フォルダの整理・再構築 【活動指標】 ・ 各分掌・学年からの改善提案とその検討 ・ 学校信頼向上委員会の開催 4回以上/年 ・ 共有フォルダの情報管理と使いやすさの検証 【成果指標】 ・ 各分掌・学年からの提案に基づく改善 1件以上 ・ 共有フォルダを活用しやすくなったとする教員の割合 70%以上	(年度末に記載)
働きやすい 職場づくり	○風通しが良く、やりがいを感じられる職場づくり ○時間外勤務時間の縮減 【活動指標】 ・ 定時退校日(月に1度)に定時退校できた教職員の割合 100% ・ 予定通り(週に1度)休養日を実施できた部活動の割合 100% ・ 放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合 90%以上 ・ スクールサポートスタッフやスクールカウンセラーなど、外部人材の積極的な活用 【成果指標】 ・ 時間外勤務時間が年360時間を超える教職員数 0人 ・ 時間外勤務時間が月45時間を超える教職員数の延べ人数 0人 ・ 1人当たりの月平均時間外勤務時間 30時間以下 ・ 1人当たりの年間休暇取得日数 10日以上	(年度末に記載)

その他	○ホームページを活用した本校の魅力の発信 【活動指標】 ・見やすく、わかりやすいホームページとなるよう改修 【成果指標】 ・リニューアルしたホームページの公開（今年度中）	
改善課題		
(年度末に記載)		

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動につい ての改善策	(年度末に記載)
学校運営につい ての改善策	(年度末に記載)